



黒帯

今回のテーマは黒帯です。

黒帯（初段）になるには、各流派、道場によって違いがあります。

志成館で黒帯になる条件はなかなか厳しいものだとは認識しています。

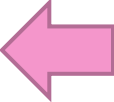
しかし、道場生の皆さんに黒帯を目指してほしいので、志成館の黒帯についてお話しします。



志成館 黒帯取得条件

- ①茶帯（1級）を取得後12か月以上の修業期間をようする
- ②下級道場生の指導を行うこと
- ③道場が実施するイベント等に積極的に参加すること
- ④指導員が受検を認めた場合

**これが黒帯を
取得するための条件**



しかし！

①に茶帯（1級）取得後12か月以上とありますが、12か月たてば必ず昇段審査を受けられるものではありません。

また、④に指導員が認めた場合とあるように茶帯（1級）取得後12か月経過していなくても昇段審査を受けることができます。

昇段審査内容

【事前審査】

黒帯挑戦者には昇段審査前に稽古を1クラス任せます

下級道場生への接し方や稽古での技の説明などをみます。

1次審査・2次審査では昇段するのにふさわしい技の力強さ、動作の正確性、気の充実を重視します。

【1次審査】

- ①基本の技（手技2、受け2、蹴り2）
- ②移動の技（手技4、足技5）



【2次審査】

型の審査

太極 1～3、平安 1～5、撃砕小



【3次審査】

10人連続組手

黒帯を受けるには？

「どうすれば、黒帯を受けることができるの？」
これには明確な判断基準はありません。

組手が強くないと受けられないの？

あまり試合に出ていない人は受けられないの？



組手が強いとか試合に出ているからとかは
全く関係ありません

黒帯の先生たちが見ているのは次の点です。

- ①空手が好きかどうか
- ②稽古を集中し、力いっぱいやっているか
- ③言われたことだけをやるのではなく、自分で考えて行動しているか

◎道場訓「一心精進、今日成し得ることに全力を尽くすこと」

黒帯はスタート

「黒帯になったらカッコいいなあ」とみんな思っているのではないかと思います。確かに黒帯を締めてる姿はカッコよく見えると思います。しかし、黒帯になるということはそんな気楽なものではありません。

◎ 志成館での黒帯に対する考え方

志成館では黒帯からが「空手家」と位置付けています。

茶帯までは「空手家」ではありません。空手を習っている人です。

そして、黒帯は指導員でもあります。

下級道場生に指導をしなくてはいけないし、目標にもならなくてはなりません。

黒 帯



空手家



指導員

黒帯になることが空手家としてのスタートです！

黒帯にとって重要なこと

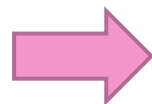
黒帯は下級道場生に指導をしなくてははいませんが、その中で自分自身も技術が落ちないように自分で稽古をしていかななくてはなりません。

また、常に新しいものに対し、日々研究し、取り入れる気持ちを持たなくてはなりません。

◎道場訓「継続は力なり、日々努力し武の道を一路邁進すること」

茶帯まで

言われたことをやる
受け身の稽古



黒帯

自らが考え自発的に
行う稽古

そして、「何事においても、志（想い、目標）を持ち、それに対して努力を惜しまない。」ということなのです。

◎道場訓「志を持ち、それを成し遂げる精神と身体を鍛えること」

志成館道場訓を実践できることが志成館の黒帯です。

最後に

黒帯になることは大変なことです。

しかし、空手を好きでいて、そして、続けていれば必ず黒帯を締める日が来ます。

道場生のみんなも黒帯を目指して頑張ってください。